



校長先生の挑戦8：これまでの校長先生の挑戦

12月1日の全校集会では「これまでの校長先生の挑戦」というテーマで、5月から11月までの「校長先生の挑戦」で話をしてきた内容を振り返りました。

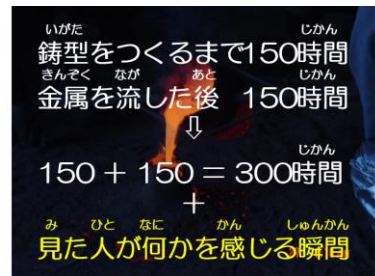
挑戦1は、「いろいろな作品づくりに挑戦しよう」ということで、シャボン玉や鉄の輪でできた作品を紹介しました。相手の心を動かすことができるものは全て作品、作品=人と人の心をつなぐ素敵なものという話でした。



挑戦2は、「あったらあいさつ」。挨拶についての話でした。挨拶は、いつでも、どこでも、誰にでも、何度でも。いくらしても損ということはありません。相手を尊重する気持ちや、大切にしている気持ちの表れです。挨拶も人と人の心をつなぐ素敵なもの。しかし、左の写真の寸劇のような一方通行の挨拶が行われていることも現実です。寸劇を見て抱いた違和感を、ずっと忘れないで欲しいと思います。

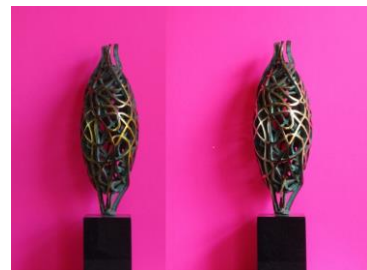


挑戦3は、「いろいろな作品づくりに挑戦しよう2」。私が、長年取り組んできた鑄造による作品づくりについて紹介しました。鑄造は手間のかかる技法です。時間をかけ、自分が思った通りの作品が出来上がっても、それで完成ではないというのが、作品づくりに取り組んで来ての実感です。見た人が何かを感じた瞬間、人と人の心をつなぐ素敵なものとなって初めて完成すると思います。



挑戦3と挑戦4は、夏休みを挟んで、「夏休み何する?」「夏休み何した?」というタイトルでした。長い夏休み、子どもたちには、様々な経験をして欲しい。「博物館」は新しい世界への入り口です。少し縁遠い感じがするのも事実ですが、ただ楽しいだけではなく、新たな世界への扉を開けてあげることも大切だと思います。左の写真のように夏休みは、先生方も、それぞれ新しい何かに挑戦しました。

挑戦6は、「磨くということ」。挑戦3で紹介した作品が再登場しました。前回との違いは、磨いてあること。人にとっても大切な意味をもつ「磨くということ」についての話でした。歯を磨くようにこつこつと、床を磨くように懸命に、腕を磨くように自分らしく。自分を磨くということは、自分はこうありたいと思い描く「ありたい自分」に近づいて行く地道で素敵な作業だと思います。



挑戦7は、「やりたいこと、なりたいもの、ありたい自分」という話でした。この話の主演は、運動会で大活躍してくれた2人の団長さん。「やりたい」「なりたい」という強い「思い」を持って立候補しました。自分の中に芽生えたこの「思い」自体、とても素晴らしいものです。しかし団長という仕事は、「自分の思い」だけではうまくいきません。そこには「団員の思い」も存在するからです。この

「他者の思い」を強く感じながら、団長としてどうあるべきかという「ありたい自分」の姿に悩み、それに全力でぶつかっていく2人の姿はキラキラと輝いていました。

みんなでおいしくいただきました。(餅つき大会)

12月2日は、毎年恒例のPTA餅つき大会がありました。5年生が、地域の皆様に御指導いただきながら育てた餅米で餅をつき、みんなでおいしく頂きました。餅米は、11月の参観日に販売もしましたので、各家庭でも、これから、餅つきの計画があるかも知れませんが、みんなと一緒に、昔ながらの杵と臼でついた餅の味は、また格別。楽しくておいしい感動が広がりました。



感動をありがとう！真北聖子さんトーク&ライブ



12月11日は、車椅子のシンガーソングライター、真北聖子さんのトーク&ライブが行われました。3年生では、総合の時間に、手話や車椅子体験等、福祉について学んでいます。そのプログラムの一つであるトーク&ライブを全校児童で鑑賞しました。お話や歌声から、真北さんの前向きな姿勢や、溢れるようなエネルギーが、ひしひしと伝わってきました。また一つ子どもたちの宝物が増えました。

校長先生の挑戦9：修学旅行で出会ったもの

12月22日の終業式では「修学旅行で学んだこと」というテーマで、12月7、8日に実施した6年生の修学旅行を振り返りながら話をしました。

子どもたちの学校生活の中でも、最も心に残った行事として挙がることの多い修学旅行ですが、その最大の魅力は、普段生活しているこの日南では得られない経験ができることです。維新ふるさと館、知覧特攻平和会館、平川動物園、鹿児島市内班別自主研修、かごしま水族館、有村溶岩展望所。子どもた



ちの心に最も残った場所は、どこだったのでしょか？

10月20日に、日南市教育委員会の学芸員、佐藤智文さんに「日南と鹿児島について」というテーマで出前授業をしていただきました。油津など良港に恵まれたこの日南の地は、歴史的に、伊東氏、島津氏にとって重要な場所であったこと、また、それ故に、太平洋戦争時にも、軍事的に重要な場所とされ、知覧と同じ特攻基地があったことを学びました。終戦を迎えたことで、人間魚雷「回天」が、この日南の海から出撃することはありませんでしたが、もし、戦争が長引いていたら、特攻によって多くの若い命が失われたことでしょう。また、終戦のほんの数日前に本格開始された日南市への空爆被害も、もっと甚大だったに違いありません。

知覧特攻会館では、命を散らした若者の遺影や手紙に出会いました。楽しい修学旅行の中での、楽しいとは異なる心の震えを、是非、心に残して欲しいと思います。



1月の行事予定

1月 9日 始業式	1月19日 油津中入学説明会
1月12日 6年生発表	1月23日 給食感謝集会
1月16日 避難訓練事前指導	1月26日 持久走記録会
1月18日 子どもの声を聞く会	1月30日 読み聞かせ(学級担任)

